

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	八戸理容美容専門学校
設置者名	一般財団法人八戸理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	31 単位	6 単位	
	美容科	⑧夜・通信	31 単位	4 単位	
衛生専門課程	理容科	夜・通信	31 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

学校名	八戸理容美容専門学校
設置者名	一般財団法人八戸理容美容専門学校

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	八戸理容美容専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施する為に、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業課目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）に生かすことを目的に設置する 選任に関する部分は2020年4月1日までに整備する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
青森県理容生活衛生同業組合八戸支部副支部長	2019.4.10～ 2021.3.31(2年)	理容師
青森県美容生活衛生同業組合十和田支部団体講師	2019.4.10～ 2021.3.31(2年)	美容所経営(美容師)
(備考) 外部人材である構成員は全部で4名選任されております。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	八戸理容美容専門学校
設置者名	一般財団法人八戸理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1 年間の行事予定をもとに各担当教員、各学科の主任、教務により授業計画を立て、担当教員がシラバスを作成。</p> <p>3月中旬に学科ごとに授業計画の概要を決定し、3月下旬にシラバスを作成 設置者の確認を得て4月に公表</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 定期考査については、一般科目は40点以上、専門科目は60点以上を獲得しなければならない。獲得出来なかった者は、追試験を受けなければならない。</p> <p>(2) 各授業科目において学則に定められた授業時間数の内、講義式の授業では70%以上、実習を伴う授業では80%以上を出席できないかた者については、当該科目の履修は認定できないこととする。</p> <p>以上の出席状況と試験結果を合わせて判断している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化) 1年次前期、後期、前後期合計の成績の分布、2年次前期、後期、前後期合計の成績分布を把握し学習成果を判断している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校所定の課程を卒業する為には、昼間課程の理容科、美容科、夜間課程は定める授業課目の単位を修得しなければならない。(決められた授業時数に出席すると共に、本校で行う年2回の定期考査を受け、実技、学科ともに合格しなければならない。) 単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算で67単位以上取得できれば卒業を認可する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	八戸理容美容専門学校
設置者名	一般財団法人八戸理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	学校にて閲覧可能
財産目録	学校にて閲覧可能
事業報告書	学校にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	学校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間/単位	21 単位	時間	49 単位	時間	時間
			70 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		14 人	人	11 人	3 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）1年間の行事予定をもとに各担当教員、各学科の主任、教務により授業計画をたて、担当教員がシラバスを作成
成績評価の基準・方法
（概要）履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） 1年次前期、後期、前後期合計の成績の分布、2年次前期、後期、前後期合計の成績分布を把握し出席状況と合わせて学習成果を判断している。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校所定の課程を卒業する為には、昼間課程の理容科、美容科、夜間課程は定める授業課目の単位を修得しなければならない。（決められた授業時数に出席すると共に、本校で行う定期考査を受け、合格しなければならない。） 単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算で67単位以上取得できれば卒業を認可する。
学修支援等
（概要）特待生制度で学費や研修費の支援を行ったり、学校独自の奨学金で経済的な支援を行ったりしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 理容所			
（就職指導内容） 県外企業、県内企業ガイダンスを行う。個別に学担や就職担当者と相談を行ったりしている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家資格取得、JNAジェルネイル技能検定試験初級・中級、 日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン、 理美容学校連絡協議会認定フェイシャルエステティシャン			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間 / 単位	21 単位	時間	49 単位	時間	時間
			70 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		71 人	人	11 人	3 人	14 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 1年間の行事予定をもとに各担当教員、各学科の主任、教務により授業計画をたて、担当教員がシラバスを作成
成績評価の基準・方法
(概要) 履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化) 1年次前期、後期、前後期合計の成績の分布、2年次前期、後期、前後期合計の成績分布を把握し出席状況と合わせて学習成果を判断している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の課程を卒業する為には、昼間課程の理容科、美容科、夜間課程は定める授業課目の単位を修得しなければならない。(決められた授業時数に出席すると共に、本校で行う定期考査を受け、合格しなければならない。) 単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算で67単位以上取得できれば卒業を認可する。
学修支援等
(概要) 特待生制度で学費や研修費の支援を行ったり、学校独自の奨学金で経済的な支援を行ったりしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	38人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容所			
(就職指導内容) 県外企業、県内企業ガイダンスを行う。個別に学級担任や就職担当者と相談を行ったりしている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格取得、JNAジェルネイル技能検定試験初級・中級、 まつ毛エクステンション美容技能3級、 日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン、 理美容学校連絡協議会認定フェイシャルエステティシャン			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81人	4人	4.9%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 状況に応じて退学ではなく、夜間課程や通信課程への編入を提案。 経済的理由の場合、奨学金等を提案したりする。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	67 単位時間/単位	21 単位	時間	49 単位	時間	時間
			70 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人	11 人	人	11 人	3 人	14 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）1年間の行事予定をもとに各担当教員、各学科の主任、教務により授業計画をたて、担当教員がシラバスを作成
成績評価の基準・方法
（概要）履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） 1年次前期、後期、前後期合計の成績の分布、2年次前期、後期、前後期合計の成績分布を把握し出席状況と合わせて学習成果を判断している。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校所定の課程を卒業する為には、昼間課程の理容科、美容科、夜間課程は定める授業課目の単位を修得しなければならない。（決められた授業時数に出席すると共に、本校で行う定期考査を受け、合格しなければならない。） 単年での履修単位は33単位以上とし、2年間合算で67単位以上取得できれば卒業を認可する。
学修支援等
（概要）特待生制度で学費や研修費の支援を行ったり、学校独自の奨学金で経済的な支援を行ったりしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容所			
(就職指導内容) 県外企業、県内企業ガイダンスを行う。個別に学級担任や就職担当者と相談を行った りしている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格取得、JNAジェルネイル技能検定試験初級・中級、 まつ毛エクステンション美容技能3級、 日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン、 理美容学校連絡協議会認定フェイシャルエステティシャン			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考
理容科	100,000 円	444,000 円	586,550 円	受験料 10,000 円 光熱水費 45,000 円 衛生費 10,000 円 実習費 204,000 円 施設費 95,000 円 教科書代 16,550 円 教具・教材費 125,500 円 実習用具費 71,600 円 白衣・身分証・健診費等 8,900 円
美容科	100,000 円	444,000 円	587,550 円	受験料 10,000 円 光熱水費 45,000 円 衛生費 10,000 円 実習費 204,000 円 施設費 95,000 円 教科書代 15,650 円 教具・教材費 131,900 円 実習用具費 67,100 円 白衣・身分証・健診費等 8,900 円
美容科 夜間課程	75,000 円	333,000 円	512,800 円	受験料 10,000 円 光熱水費 45,000 円 衛生費 10,000 円 実習費 153,000 円 施設費 71,250 円 教科書代 15,650 円 教具・教材費 131,900 円 実習用具費 67,100 円 白衣・身分証・健診費等 8,900 円
	円	円	円	円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校長が学校関係者評価委員会に自己評価を報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。学校関係者委員会は企業等委員・父母会・同窓生等により構成されていて、年に2回以上開催される。 教職員は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献に関する学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等質の保証と向上に継続的に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
理容所経営・理容師	2年	学校役員
理容所経営・理容師	2年	学校役員
理容所経営・理容師	2年	学校役員
理容所経営・理容師	2年	学校役員
美容所経営・美容師	2年	企業委員
理美容の関係企業	2年	企業委員
美容所経営・美容師	2年	P T A
理容所経営・美容師	2年	P T A
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://www.ribiyoko.or.jp
